



野洲市が新型コロナ対策を公表 水道料金(1期2か月分)1600円、小規模事業者 応援金など

コロコロ変わる建設地 支離滅裂で混乱の極み

これまでを進め方は余りにも無為無策で支離滅裂な対応です。市政は混乱の極みで、市長の政治責任は重大です。市長は政治的思惑で進めるのではなく、市民多数が願う、駅前(Aブロック・現計画案)建設に立ち戻るべきです。

自ら提案↓自ら否定↓そして提案？
駅前(Bブロック)建設を示唆…。

毎日新聞(5月27日付)によりまずと、「野洲市が新病院建設地を駅前(Bブロック)に固めた」と報道しました。栢木市長が駅前建設を否定し、実現不可能な市有地での3候補地を提案していましたが、Bブロックはその一案です。しかし、Bブロックは、自ら提案しながら、「敷地が狭小」と自らを否定していたものです。これを一転、「否定の否定」でBブロックでの方向を固めたようです。

国から野洲市に交付される「コロナ対策交付金(1億6692万円)」について、14事業を明らかにしました。この中で、市議会の総意(公明党除く)として市長に要望していた5件が盛り込まれました。その内、共産党市議団も強く要望していた水道料金の減免も実施されることになりました。

一方で議会として要望していた、PCR検査の社会的検査は「意味がない」として否定しました。党市議団は引き続き、命と健康・暮らしを守る市政へがんばります。以下、主なものを紹介します。

■小規模事業者応援金

令和3年1月から6月の間、事業収入が30%以上減収した小規模事業者(業種問わず)に対して、一律10万円を給付。

■水道料金(基本料金)の減免

水道料金の基本料金(1期・2カ月分)1600円を減免。

■在宅介護サービス事業者に対する給付

通所、訪問、短期入所事業に対し、1事業所30万円の定額給付及び定員に応じて、10万円及び30万円を上乗せ給付。

■修学旅行が中止になった場合のキャンセル料補助

■自治会が購入した感染防止備品に対し補助

■野洲市商工会実施のテイクアウト広告宣伝費用の補助

■民間保育所及び学童保育所の手洗い場自動水洗交換費用の補助

■コミュニケバスに対し感染防止消耗品の経費

ワクチン接種予約(65歳以上)再開ですが 「あなたの接種は9月です」に

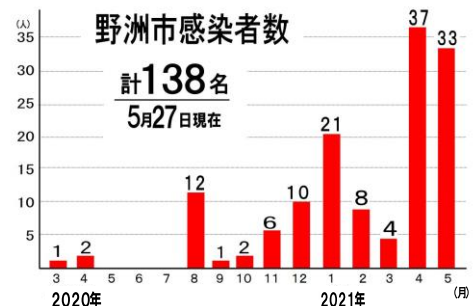


5月25日から新型コロナワクチン接種の予約が再開されました。

5月10日から始まった高齢者接種は5月末で約1900名となります。残りの対象者に対して始まった25日からの予約受付は、26日現在約1万人(4月からの予約含め)が予約をされました。しかし、野洲病院での接種は1週

間で約900人が限度。よって、今回予約で遅い人は8月下旬の接種(2回目は9月)になっています。「あまりにも遅いではないか!。なぜ?」と接種体制に市民から不安と批判が出ています。

このような事態は当初から予想されていたことです。個別接種や新たな集団接種など対策を至急取るべきです。



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2021年5月30日 No.411

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索